

日塗工 整理No. (日塗工記入)		2017-52		労働災害状況調査表	
発生会社 事業所					
災害発生日時		2017年 5月 25日(木) 16時 30分 天候( 雨 ) 温度( - °C)湿度( - %)			
災害区分		<input checked="" type="radio"/> 不休災害 <input type="radio"/> 休業災害 (休業:一日)			
被 災 者	部門	物流		雇用形態 正社員、派遣、契約、 <input checked="" type="radio"/> その他(路線業者)	
	年齢	43 歳	性別: <input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女	勤続年数 10年8か月	経験年数 10年8か月
	傷病名	打撲			
	傷病部位	右腕、右手の甲、右脚太腿付け根			
災 害 発 生 状 況	危険物倉庫北側において、フォークリフトでトラックへ商品を積込作業中、後方(周囲)確認せずバック走行したため、事務棟へ向かうため付近を歩行していた被災者の右腕に接触し負傷した。  フォークリフト運転者(路線運送業者) 加害者 53才 勤続年数15年9ヶ月		状況概略(写真orイラスト) <p>The diagram illustrates the accident scene. On the left is a '危険物倉庫' (Dangerous Goods Warehouse). In the center is a 'トラック' (Truck). On the right is a '事務所' (Office) with a '通路' (Passage) and '事務所裏口' (Back entrance of the office). A 'フォーク' (Fork) is shown moving from the office area towards a '人' (Person) who is walking. A red 'X' marks the point of contact between the fork and the person's arm. A blue arrow points from the person towards the warehouse area.</p>		
	災害の型 <sup>※1)</sup>	3. 激突(当たる・ぶつかる)		作業の形態: <input checked="" type="radio"/> 定常、非定常、その他( )	
	起因物:	フォークリフト		特記事項	
原 因 分 類	1. 人的要因(man)				
	フォーク後退時、後方の安全確認が出来ていない。				
	2. 物に関する要因(machine)				
	特になし。				
3. 環境要因(media)					
歩行者の通行ルートが不明確であった。					
4. 管理的要因(management)					
路線業者のフォークリフト運転に対する安全の意識レベルが低かった。(教育頻度が低い)					
対 策	①フォーク後退時指差呼称による安全確認の徹底及び管理者による構内パトロールを実施。				
	②通行ルートの追加、ルールを作成し、全業者、社員に教育し徹底させる。				
	③乗務員が作業する時は免許証の提示、フォークリフトルール順守宣誓書を理解、サインさせる。				
対策分類 <sup>※2)</sup> : 1-2災害・事故の想定と対応、1-3リスクアセスメント、1-6教育、2-4危険認識					

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)